

シート②「障害のもととなる認知特性」情報処理の違い

障害特性	関連する情報処理の特性	本人の具体的な行動	支援のアイデア
コミュニケーションの障がい	ア 理解が難しい	* 見えないものの理解が難しい	* 本人が理解できる見える情報(文章,単語,絵,写真,シンボル,具体物等)で伝える * 伝える量に配慮する * 理解できるまで待つ * 苦手な刺激への配慮
		* 音声言語の理解が苦手	
		* 見える情報で考える	
		* 一度に沢山は分からない	
		* 理解するのに時間がかかる	
		* 聴覚に過敏がある(音・声など)	
	イ 表現が難しい	* 見えないものの扱いが難しい	* 本人が使いやすいツール(文章,単語,絵,写真,シンボル,具体物等)の提供 * 誰にどうやって伝えるか分かる様に具体的に支援 * 忘れた時に思い出す工夫
		* 音声言語では上手く伝えられない	
		* 誰に伝えたらいいか分からない	
		* どこに伝えたらいいか分からない	
		* 刺激に影響を受けやすい	
		* 忘れやすい	
	ウ やりとりが難しい	* 気持ちなど見えないものの理解が難しい	* 会話も見えるツールとする * 相手の処理速度に合わせる * 人数等にも配慮する
		* 忘れやすい・処理速度を合わせられない	
		* 情報が多いと処理が難しい	
社会性の障がい	エ 相手の気持ちを想像できない	* 見えないものの理解が難しい	* 関係性,感情等も見える形で伝える * 汲み取ってもらふ察してもらうではなく具体的に伝える(誰にどう伝えたら良いか等)
		* 情報の多いものは苦手	
		* どこをみたらいいか分からない	
		* 関係性が分からない	
		* 表情や声質など全体的な理解が苦手	
	オ 状況の理解ができない	* 見えないものの理解が難しい	* 「いつ」「どこか」「何を」の情報を見て分かるようにする * 着目すべき場所を強調する * 一つの場所を多目的に使わない * 「どうなったら終わり」「次に何を」が分かるように工夫する * すべきことを具体的に伝える。 * 環境を整え刺激を少なくする。 * 見て分かるように手順を伝える。
		* 時間の流れを頭の中で組み立てられない	
		* どこをみたらいいのか分からない	
		* どこで活動したらいいのか分からない	
		* 視線や雰囲気から読み取るのは苦手	
		* あいまいなものの理解が苦手	
		* 終わりが理解しにくい	
		* 刺激に影響されやすい	
		* 手順が思いつかない	
想像力の障がい	カ 物の一部に対する強い興味	* 興味関心が狭くて強い	* 本人の興味関心に合わせた提示 * 最初から正しい方法で学ぶ配慮 * 活動に意味を持たせる(ごほうびの活用) * 終了ときっかけの支援
		* ひとつ思いつくとそれ以外思いつけない	
		* 集中しすぎると注意の移動ができない	
		* 部分的に強く処理し全体の理解が苦手	
	キ 常同・反復的な行動	* 細部が強調され違いに敏感	* 最初から正しい方法で学ぶ配慮 * 変わらないものは習慣化する * 変わるものは「やり方」「教え方」を統一する
		* 少しの違いで大きな不安	
		* 見た記憶が強く引っ張られる	
		* その都度判断するのが苦手	
	ク 変化への対応困難	* 一度思いつくとそれ以外思いつけない	* 活動を始める前に成功につながる手がかりを用意する。 * 忘れても確認できるようにする * 変更の伝え方を統一する
		* 細部が強調され違いに敏感	
		* 手がかりが変わると分からなくなる	
		* やり方を忘れる	
感覚の障がい	ケ 感覚の敏感・鈍感	* 感覚に敏感がある	* 苦手な刺激を少なくする為の配慮(イヤーマフ,サングラス等) * 強い刺激等危険な刺激,好きすぎる刺激への配慮 * 避難場所の確保 * 本人に必要な刺激は止めない
		* 感覚に鈍感がある	
		* 独特な感覚がある	
		* 刺激が重なると処理が難しくなる	

シート②「障害のもととなる認知特性」情報処理の違い

障害特性	関連する情報処理の特性	本人の具体的な行動	支援のアイデア
コミュニケーションの障がい	ア 理解が難しい	* 見えないものの理解が難しい	* 本人が理解できる見える情報(文章,単語,絵,写真,シンボル,具体物等)で伝える * 伝える量に配慮する * 理解できるまで待つ * 苦手な刺激への配慮
		* 音声言語の理解が苦手	
		* 見える情報で考える	
		* 一度に沢山は分からない	
		* 理解するのに時間がかかる	
		* 聴覚に過敏がある(音・声など)	
	イ 表現が難しい	* 見えないものの扱いが難しい	* 本人が使いやすいツール(文章,単語,絵,写真,シンボル,具体物等)の提供 * 誰にどうやって伝えるか分かる様に具体的に支援 * 忘れた時に思い出す工夫
		* 音声言語では上手く伝えられない	
		* 誰に伝えたらいいか分からない	
		* どこに伝えたらいいか分からない	
		* 刺激に影響を受けやすい	
		* 忘れやすい	
	ウ やりとりが難しい	* 気持ちなど見えないものの理解が難しい	* 会話も見えるツールとする * 相手の処理速度に合わせる * 人数等にも配慮する
		* 忘れやすい・処理速度を合わせられない	
		* 情報が多いと処理が難しい	
社会性の障がい	エ 相手の気持ちを想像できない	* 見えないものの理解が難しい	* 関係性,感情等も見える形で伝える * 汲み取ってもらふ,察してもらうではなく具体的に伝える(誰にどう伝えたら良いか等)
		* 情報の多いものは苦手	
		* どこをみたらいいか分からない	
		* 関係性が分からない	
		* 表情や声質など全体的な理解が苦手	
	オ 状況の理解ができない	* 見えないものの理解が難しい	* 「いつ」「どこか」「何を」の情報を見て分かるようにする * 着目すべき場所を強調する * 一つの場所を多目的に使わない * 「どうしたら終わり」「次に何をする」が分かるように工夫する * すべきことを具体的に伝える。 * 環境を整え刺激を少なくする。 * 見て分かるように手順を伝える。
		* 時間の流れを頭の中で組み立てられない	
		* どこをみたらいいの分からない	
		* どこで活動したらいいの分からない	
		* 視線や雰囲気から読み取るのは苦手	
		* あいまいなものの理解が苦手	
		* 終わりが理解しにくい	
		* 刺激に影響されやすい	
		* 手順が思いつかない	
	カ 物の一部に対する強い興味	* 興味関心が狭くて強い	* 本人の興味関心に合わせた提示 * 最初から正しい方法で学ぶ配慮 * 活動に意味を持たせる(ごほうびの活用) * 終了ときかけの支援
		* ひとつ思いつくとそれ以外思いつけない	
		* 集中しすぎると注意の移動ができない	
		* 部分的に強く処理し全体の理解が苦手	
想像力の障がい	キ 常同・反復的な行動	* 細部が強調され違いに敏感	* 最初から正しい方法で学ぶ配慮 * 変わらないものは習慣化する * 変わるものは「やり方」「教え方」を統一する
		* 少しの違いで大きな不安	
		* 見た記憶が強く引っ張られる	
		* その都度判断するのが苦手	
	ク 変化への対応困難	* 一度思いつくとそれ以外思いつけない	* 活動始める前に成功につながる手がかりを用意する。 * 忘れても確認できるようにする * 変更の伝え方を統一する
		* 細部が強調され違いに敏感	
		* 手がかりが変わると分からなくなる	
		* やり方を忘れる	
	ケ 感覚の敏感・鈍感	* 感覚に敏感がある	* 苦手な刺激を少なくする為の配慮(イヤーマフ,サングラス等) * 強い刺激等危険な刺激,好きすぎる刺激への配慮 * 避難場所の確保 * 本人に必要な刺激は止めない
		* 感覚に鈍感がある	
		* 独特な感覚がある	
		* 刺激が重なりと処理が難しくなる	